

事業所名

ま〜ぶる・び〜と

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 法人（事業所）理念 | 1. どんなに障がいや重度であっても、高齢者になっても生まれ育った地域で暮らしていく。そのためのお手伝いを行う会社を目指しています。 2. 地域資源を活用し、同じ考え・行動をできる共同者を募り、地元の方が地域を支えていく関係作りを目指しています。 | | |
| 支援方針 | 個別：専門職が個別（1対1）で子どもの「楽しい！」を引き出しながら、特性や課題に応じた活動を提供します。 ペア・グループ：同年代のお子さまと一緒に活動することで、一斉指示によるルール理解、お友達とのやりとりについて丁寧に確認する機会を作っています。 未就園グループ：わらべうた等を通じた親子での関わり方や、手遊びや読み聞かせなどのおあつまり、感覚遊びや季節の制作を行っています。 | | |
| 営業時間 | 8 時 30 分から | 17 時 30 分まで | 送迎実施の有無 なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・食具の操作や着脱など、基本的な生活動作の獲得を専門職の視点でサポートしていきます。 | |
| | 運動・感覚 | ・効率良く歩けるようになるまでの動きを丁寧に確認していきます。 ・運動遊びやサーキット、感覚あそびを通して、バランスをとること、力の強弱など自分の身体をコントロールすることを学んでいきます。 ・遊びの中で道具を使っていくことで、指先の細かな操作や日常生活に必要なスキルの獲得につなげていきます。 ・一人ひとりの好きな感覚、苦手な感覚に配慮しながら、遊びを提供していきます。 | |
| | 認知・行動 | ・学習の土台になる（色、形、大きさ、量、方向などを認識する）能力を高める活動を取り入れていきます。 ・お子さまが理解しやすい環境を整え、達成感をもてる活動を行っています。 | |
| | 言語 コミュニケーション | ・「楽しい」「やってみたい」などご本人様の伝えたい気持ちを育みます。 ・発達段階に合わせ、要求の手段（サイン、絵カードなど）を増やし、言葉以外のコミュニケーション手段の獲得を支援していきます。 | |
| | 人間関係 社会性 | ・お子さまと一緒に遊びを共有しながら、大人との関係性を構築していきます。 ・一人ひとりの好きなものや発達段階に沿った遊びを提供することで、遊びを広げるとともに、社会性や集団参加の基礎を育てています。 ・小集団での活動で、相手と協力したり、ルールや順番を守る場面を設定していきます。活動を通し、自分の気持ちを表現すること、相手に合わせる経験をする中で、人と関わる力をつけていきます。 | |
| 家族支援 | セッション終了後に活動内容やお子さまのご様子について情報共有を行うとともに、必要に応じて面談の場を設け、ご家族様の不安や困りごとへの相談援助を行います。 | 移行支援 | お子さまの状態を踏まえた移行先の選択や、並行利用先と支援内容の共有していきます。 |
| 地域支援・地域連携 | 地域のさまざまな関係機関との連携を図っています。 行政、医療機関、保育所、保育園、こども園、幼稚園、学校、相談支援事業所、障害児通所支援事業所 等 | 職員の質の向上 | OJTや支援に必要な専門的な外部研修を受講し、資質向上に努めています。また、個別検討会議を行い、全職員が利用児童の支援状況を把握しています。 |
| 主な行事等 | 季節に関するイベント 工作、夏祭り風イベント、ハロウィン、クリスマス等 | | |